

# 栃木県



ナイチュウ

(とちぎナイスハート推進マスコットキャラクター)



とちまるくん



でいとっち

(栃木県精神保健福祉センター  
マスコットキャラクター)

## 地道な活動の継続

## ～小さな事からコツコツと～

栃木県では、平成25年度から「地域に迎え入れる力」、平成26年度から「病院の送り出す力」を高めるための研修に着手し、実行計画を立案するグループワーク、ブラッシュアップを継続実施している。平成27年度からは、より積極的な取組を推進するため、県自立支援協議会相談支援部会に国研修受講者を中心にした官民協働のワーキンググループを設置し、研修の企画運営などについて検討を行っている。

また、地域移行の対象となりうる者を把握するため、平成26年度に精神科病院入院患者の調査を行い、地域移行のハンドブックを作成し取組の均てん化を図っているところである。

## 1 県の基礎情報

### 栃木県



#### 取組内容

##### 【人材育成の取り組み】

地域連携を推進するための研修の実施

##### 【精神障害者の地域移行の取り組み】

- 地域移行支援協議会の設置・運営
- ピアサポーター活用事業
- 精神科病院入院患者調査の実施
- 精神障害者の地域移行の推進のためのハンドブックの作成

### 基本情報

圏域数	6圏域
人口	1,969,390人
精神科病院の数	27病院
精神科病床数	5,049床
入院精神障害者数 (H27.6.30時点)	3か月未満：676人（15.3%）
	3か月以上1年未満：561人（12.7%）
	1年以上：3,170人（72.0%）
退院率 (H27.6月の入院患者の状況)	入院後3か月時点：64.6%
	入院後1年時点：92.0%
相談支援事業所数	一般相談事業所数：43
	特定相談事業所数：164
障害福祉サービス利用 状況（H27.10月分）	地域移行支援サービス：6人
	地域定着支援サービス：17人
保健所	6か所（うち1か所は中核市）支所4か所
（自立支援）協議会	（人材育成について議論）：相談支援部会 （活動頻度）：4回/年
	（精神障害者の地域移行について議論）： 地域移行ワーキング （活動頻度）：5回/年
精神保健福祉審議会	委員数18名

※特に指定のないものについては、H28年4月時点

## 2 精神障害者の地域移行推進のための取組概要

平成25年度

「地域に迎え入れる力」の強化



保健所保健師

医療と福祉のつなぎ役

平成26年度

「病院から送り出す力」の強化



### 平成27年度「医療と福祉等の連携」強化

各機関が役割を発揮・強化するとともに、医療と福祉等の多職種チームで取組を各地域で継続・促進し、精神障害者が望む地域生活を支援



医療と福祉等の支援者

中核人材  
保健所

国研修  
修了者

県

本人中心のチーム支援ができる人

→精神障害者が希望する地域生活を応援

本人中心の保健医療・福祉サービスの連携が図れる人

→地域の課題解消のため関係者を巻き込み展開

→医療と福祉のつなぎ、実行計画の進捗管理、取組継続の支援

人材を育成できる指導者

→県主催研修の企画・講師

都道府県の仕組みづくり

→中核人材の育成等の研修運営、実行計画の発表 & 作成・情報交換の場の設定

## 「精神障害者が希望する地域生活の実現」

- 1 地域移行・地域定着に関わる人材の養成
  - ・各機関・職種が求められる役割を理解し実行する →①
  - ・特に、退院後生活環境相談員と相談支援専門員の資質向上 →②③
- 2 医療と福等社の連携による支援ネットワークの構築
  - ・地域単位で継続して応援する仕組みを確立する →①②③+④
- 3 相談支援体制の構築
  - ・基幹相談支援センター設置を柱とした市町の相談支援体制の充実・強化 →①②③+④+⑤等

事業名		対象	H25	H26	H27	H28
①	<ul style="list-style-type: none"> <li>・精神障害者地域移行・地域定着支援研修</li> <li>・〃フォローアップ研修</li> <li>・医療と福祉の連携を推進する中核的人材育成研修 (上記2つの研修を統合)</li> </ul>	医療と福祉の中核的支援者を健康福祉センターが推薦、圏域チームで参加				
②	<ul style="list-style-type: none"> <li>・改正精神保健福祉法に関する業務従事者研修</li> </ul>	精神科病院の退院後生活環境相談員等が4名1組で参加				
③	<ul style="list-style-type: none"> <li>・相談支援従事者専門コース別研修 (精神障害者)地域移行・地域定着支援</li> </ul>	相談支援専門員				
④	広域健康福祉センター事業(H24から)※①の地域展開 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ピアサポーター活用事業</li> <li>・地域移行支援協議会の運営</li> <li>・地域移行支援協議会主催研修</li> </ul>	ピアサポーター 病院、相談支援事業所、市町等				
⑤	<ul style="list-style-type: none"> <li>・相談支援協働コーディネーターによる助言・指導等</li> <li>・市町の相談支援体制強化の実行計画を支援</li> </ul>	市町職員・相談支援事業所等				

### 3 精神障害者の地域移行の取り組みの経緯

年度	取組概要
H15年度	モデル事業として「精神障害者退院促進支援事業」を1圏域で実施
H19～23年度	精神障害者地域移行支援特別対策事業を圏域ごとに実施
H25年度	精神障害者地域移行・地域定着支援研修を開催
H26年度	精神科病院入院患者調査の実施（H26年4.1時点） <ul style="list-style-type: none"> <li>・1年以上の入院患者3,364名のうち退院可能と考えられる者1,278名</li> <li>・上記の者のうち、地域移行支援事業の必要性がある者：514名</li> </ul>
	精神障害者の地域移行の推進ためのハンドブックを作成、関係機関へ配布
	改正精神保健福祉法に関する業務従事者研修、地域移行・地域定着支援研修フォローアップ研修、市町相談支援体制・充実強化研修を開催
	多職種連携支援を促進するためフォーラムを開催〔作業療法士会委託〕
H27年度～	栃木県自立支援協議会相談支援部会地域移行ワーキング設置
	地域移行中核人材育成研修、精神保健福祉法業務従事者研修及び市町相談支援体制・充実強化研修を開催

## 4 精神障害者の地域移行推進における強みと課題

- ・ 貴自治体における精神障害者の地域移行に関する特徴（強み）と課題を記載してください。

### 特徴(強み)

1. 平成15年度から精神障害者退院促進支援事業等に取り組んでいる。
2. 地域移行に積極的な相談支援事業所がある。
3. 保健所を中心とした地域移行支援協議会等が定期的に行われている。

### 課題

1. 人材育成(一般相談支援事業をはじめとした地域移行に携わる人の育成が必要)
2. 医療福祉の連携強化(保健医療(県)と福祉(市町村)、相談支援事業所の連携が必要)
3. ピアサポートの活用促進(圏域ごとの活動にバラつきがあり、均てん化が必要)

## 5 精神障害者の地域移行推進のための本年度のスケジュール

- ・今年度の目標及び目標達成のためのスケジュール（いつ、だれが、何を、どのように実施するか）

### 今年度の目標

より効果の高い内容、実施形態となるよう研修の実施方法等の見直しを行いつつ、これまでの取組の着実な実施に努める。（継続は力）

次期(月)	実施内容	担当
8月	・精神保健福祉法業務従事者研修（第1回）	地域移行WG
9月	・地域移行中核人材育成研修(第1回)	//
H29. 2月	※上記2研修のフォローアップ研修を予定	
通年	・精神障害への理解促進	県、市町村、相談支援事業者
通年	・グループホームの充実	県(国)、事業者
通年	・地域相談支援の体制強化	保健所、市町村
	相談支援体制充実強化研修(時期未定)等	県、保健所、相談支援協働 コーディネーター
随時	・ピアサポートの活用	保健所
随時	・精神科病院における退院促進のための体制整備に必要な情報の提供 等	県、市町村等

# これからの精神保健福祉 栃木県はこう思っています



「障害があってもなくても、手を取りあって、共に生きる」

とちぎナイスハート推進マスコットキャラクター“ナイチュウ”